



入試に備えてホテルに宿泊し、勉強する23区内在住の男性の長男=2022年1月、男性提供

中学受験 いくらかかるの

首都圏で中学受験熱が高まるなか、塾代などがかさむ。負担の重さに悩む保護者は少なくない。何だかんだでいかに、塾代を減らすか、くわしくいえるのか。(高橋あゆみ)

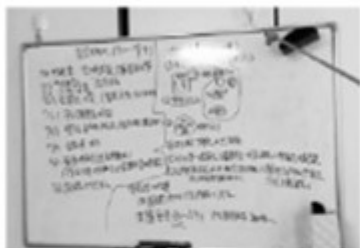
本番間近の費用「想定外」「感覚まひ」



東京都区内に住む40代の会社員男性は昨年9月、小学6年生だった長男の塾の料金に驚いた。一度に約30万円が引き寄せられていた。その2カ月間、夏期講習代として15万円ほどを納めたばかりだった。小6の1年間だけで塾に約百数十万円かかることは聞いていた。だが、秋以降の追い込みの時期に出費が集中するのは想定外だった。

小6の夏ごろから頼んでいた家庭教師は小6の9月に辞退する間に増やし、月に15万円に上った。学費内割が増えて塾代だけでは追いつかないからだ。12月と1月は「束ねられる日は来」と頼み、月25万円ずつつぎやさん。「受験が近づくと、後戻りできない状況でまとまった金額が必要になり、感覚がまひしていった」

塾通わず親が教える家も



自営業男性が解説に使った長女の部屋のホワイトボード=都内、男性提供

受験料に出費がかさむのも予想していなかった。出願先は13校になり、合計約1万円近くに。このほか1月に受ける埼玉や千葉の中学は遠方のため、受験のたびに親でホテルに宿泊。宿泊代と交通費で10万円以上になった。

長男は塾事、第1志望の有名校に合格したが、5、6年生でかかった費用は、塾に約200万円、家庭教師に約200万円、受験料や宿泊代、塾誌などに約40万円だった。入学した私立中は、初年度だけで入学金や授業料に計100万円ほどかかった。塾にも通い始め、月3万5千円払っている。

学校生活を送っており、受験まで1週間を待たずしてはいないが、張り返って思う。「中学受験はやるなら相当な覚悟が必要だ」

塾も家庭教師もなしで出費を抑えた家もある。三鷹市の40代の自営業男性は、現在中1の長女が小4のころ受験を希望した際、塾なし、家庭教師なしで受験させると決めた。在塾での仕事が多いのと、学生時代に塾講師や家庭教師のアルバイトを経験していたことを考慮し、不可能ではないと判断した。

「個別指導を買い、平日は午後4時から1時間半ぐらい解かせて午後8時から解説した。長女はまじめに取り組み、5年生で4教科の全単元を終え、6年になって2回目、3回目と復習に取り組みだ。模試は頻繁に受けさせた。指導が過熱し、あるとき長女が「もう無理」と離れした。そこで我に返り、指導の仕方を見つめ直した。結果、第1志望の都立中高一貫校に合格。費用の総額は、模試代を中心に計30万円程度にとどまった」

教える立場で我が子と向き合っていると感情をこぼしてしまったり、中学受験の指導は熱心な方が多い。その一方で男性は感じる。ただ、それでも塾代は高額だし、母が通くならいざ知らず、本人の希望にもよるが、塾に通える余裕があれば、塾に通わないのもいいと思う」

塾の「オプション」かさむ出費

中学受験の費用負担が重いのは、特別講習や家庭教師など、塾の通常授業以外の出費がかさむからだ。「自分も外部の保護者だったら、塾が「取りすぎ」だと疑うだろう」。都内の大手学習塾で中学受験生を教える40代男性は、アルバイト時代を含めると勤続は20年以上。子どもを自社の塾に通わせており、負担の重さは実感している。かつて先輩からは「お金のことは家庭が判断するから、俺たちは最大限の提案をしよ

う」と教わった。男性は「経験上、塾に多く通ってもらえば、おおむね成績向上につながる」。だから、保護者に通常授業以外の特別講習や系列の個別指導塾などの併用といった、費用がかさむ「オプション」の必要性を説き、小学校低学年からの早期入塾も勧めているという。男性は、入塾時の契約で費用に触れる際、基本的に受験までかかる総額ではなく、直近でかかる月謝を説明することになっている。受験本番が近づくと費用がかさむことは

業界では常識だが、自ら説明すれば契約を逃す恐れがあるという。入試分析や教材開発などには常にコストがかかり、さらにコロナ対策でオンライン授業を行うための設備投資がかさんだ。そうしたなか、できるだけ多く生徒を集めたい事情がある。男性は、受験までの総額を開かれれば標準的にかかる額を具体的に答えることにしている。一方、同僚のなかには「授業の取り方による」と関連講師もいるという。

「高校卒業まで800万円」

中学受験塾に関するデータを集めた書籍「塾ランキング」の著者の石田達人さんによると、標準的なケースでも、塾代は小6の1年間で90万~120万円ほどかかる。小4から通う場合、比較的安い塾でも、受験費用などを合わせて3年間で240万円ほどかかるという。個別指導塾や家庭教師を併用する場合、週1回の利用でもさらに年15万~100万円が必要だ。お金が必要なのは受験前

だけではない。東京都によると、中学1年時にかかる学費は、都内の私立中182校の平均(2023年度)で8万9125円。前年より1万円ほど増えた。石田さんは「中学受験の塾代から全て含めると、私立なら高校卒業までの6年間で総額800万円ほどかかるのが標準的」と指摘。「受験や塾が本場に必要か、結果はコストに見合うか、家庭でじっくり考え、話し合うべきだ」